

課外講習のお知らせ(新高3)

鷗友教育研究所 担当:中村達幸

課外講習は、以下の内容で行われます。希望する人はp.4の【申込方法】に従って申し込んで下さい。

【開設講座】

講座名	曜日・時間
5.Ⅲ・スーパー英作文	月曜日 7・8時間目
6.Ⅲ・文法で極める英文解釈	水曜日 7・8時間目
7.Ⅲ・数学(数ⅠA・ⅡB)	木曜日 7・8時間目
8.Ⅲ・現代文	金曜日 7・8時間目

【授業内容】主に大学入試問題等を使用した演習。1期 100分授業×7回

【日程】第1期:4月～7月 / 第2期:9月～12月。

別に夏休み前には特講を予定(別途連絡します)。但し、現代文(一橋対策)のみこの時期に申し込んでください。

【受講料】1期・1講座 8,800円。1期・2期両方だと 17,600円

※現代文については下の講座内容の「現代文」を参照。

【講座内容と講師】

5.Ⅲ・スーパー英作文 月曜

【講師】白石 富男

埼玉大学大学院卒。河合塾や城南予備校などの予備校で教鞭をとる一方、英作文の参考書や『ジーニアス英和辞典第四版』『ジーニアス英和辞典第五版』『ジーニアス和英辞典第三版』『ベーシックジーニアス英和辞典第二版』(以上大修館書店)、『類語大辞典』(講談社)などの辞書執筆も行ってきました。授業では、なぜこういう表現はダメか、なぜこういう表現になるのか、などを納得してもらおうよう心がけています。

【講座内容】

大学入試のライティング問題は、選択問題や整序作文などの客観問題と和文英訳問題や自由英作文問題という記述問題に分けられます。客観問題は自主学習ができますが、記述問題は自分が書いたものがどの程度のできなかがわからないとどうにもなりません。そこで、授業では記述問題を素材にして、受講生の英語を添削する形で進めていきます。

Readingの力をつけるために精読と多読両方をバランスよく行うことが必要であるのと同じように、ライティングでも語句のチョイスや文法、構文を意識して1語1語に気を配りながら書く「精書」と、文章全体の構成や流れに注意してまとめた内容を書く「多書」をバランスよく練習する必要があります。受験勉強のライティングで「精書」に当たるのが和文英訳で、「多書」に当たるのが自由英作文になるでしょう。1学期は「精書」に比重を置き、短文の日本語を英訳する練習を中心に行い、自由英作文で書く英語構成の論理についても解説します。

英文法に苦手意識がある人も大歓迎ですよ。英作文が受験で必要なくてもです。

6. III・文法で極める英文解釈－正確な英文読解の基本を学ぶ 水曜

【講師】武谷 武志

医歯薬系専門予備校を含む多くの予備校や進学実績を急速に伸ばした高校で数多くの悩める受験生に英語を教えることができました。だから受験生が躓いてしまう箇所、伸び悩む理由は熟知しています。みなさんの立場に立って、独学では乗り越えにくいポイントに絞って「わかった！」という快感が学習の原動力となるような授業をしていきます。

【講座内容】

入試の英文解釈は、文法・語彙・大意把握・文脈把握・詳細な内容一致・訳出など様々な英語力が試される試験です。そのため単に「なんとなく内容は読めているのに…」と書いていても点数に結びつかないことがよくあります。

特にフィーリングで英文を読んでいる人は、たとえ大意の把握はできてもその他の設問で点数を落としてしまい、結局思うように点数が伸びない、ということはありませんか？

こういった「症例」に対処するため、この講座では、ただ漠然と感覚で英文を読むのではなく、文法と論理に基づいて正確に英文を読む読解法、点数に結びつく読解法を訓練していきます。

そのためにこの講座では、単なる英文解釈、長文読解にとどまらず、必要ならば文法の基本にまで立ち返って基礎から英語の構造を理解し、知識を整理し、最終的には「自力」で正確な英文読解ができるようになる訓練していきます。

中堅私立から難関私立、国公立に至るまで、受講生の志望と実力に合わせて柔軟に対処していきますので英語が苦手でも大丈夫！

自信を持って「英語は得意！」と言える自分に変えていきましょう。

7. III・数学（数ⅠA・ⅡB）木曜

【講師】宮内 正

多くの予備校で、医学部数学から理系文系の講座を多数担当している。論理的で明快な解説とその優しい人柄で数学の苦手な生徒達からも厚く信頼されている。

【講座内容】

頻出の入試問題を通して、現時点で理解している部分および理解し

ていない部分を、みなさんに把握してもらい、受験に向けてひとつずつハードルを乗り越えてステップアップしていきましょう。穴埋めの問題と記述式の問題の両方

を扱いますが、記述式の場合は、答案の作成方法と「記述するべき事柄や式」に注意しながら解説します。また、共通テスト対策については要望があれば実施します。

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 第1回 数と式、方程式・不等式 | 第2回 式と証明(割り算の問題など) |
| 第3回 指数・対数関数 | 第4回 図形と方程式 |
| 第5回 ベクトル | 第6回 数列 |
| 第7回 場合の数・確率 | |

8. Ⅲ・現代文 金曜

[講師]山田 芳明

[講座内容]現代文は何となく読み、何となく解いている人が多い科目です。そうしたやり方から脱却し、文章を正確に読むとともに、設問に〈正攻法〉で答えることが年間通しての共通目標です。ちなみに、〈正攻法〉とは〈消去法〉に頼らない解き方です。もちろん〈消去法〉が必要なときもありますが、安易に頼りすぎないことが、入試得点力をアップさせる上で非常に大切です。まずは〈正攻法〉の解き方をしっかりと身につけてください。

この講座は期ごとに内容や目的が異なり、自分に必要なものだけを申し込むことが可能です。それぞれの期の大まかな内容は以下の通りです。

第1期:4月から7月にかけては、文系の生徒を対象に私大対策(全7回)を行います。主として早大・上智大の入試問題に取り組む予定です。

第2期:7月から1月にかけて東大(全7回)の記述対策を、夏休み前から9月にかけて一橋大(全4回)の記述対策を行います(どちらかを選択して受講できます)。

※ 現代文の受講料。第1期の私大対策と第2期の東大対策(全7回)は各 8,800 円、第2期の一橋大(全4回)対策は 5,000 円。

申込方法は次のページ

【申込方法】

1 受講料を振り込む どちらの方法でも振り込み時に手数料がかかります。

A 銀行などの金融機関からネットバンキングで振り込む

〈参照〉https://www.jp-bank.japanpost.jp/kojin/sokin/furikomi/kouza/kj_sk_fm_kz_1.html

銀行名: ゆうちょ銀行 (金融機関コード: 9900 店番: 019)

店名(支店名): 0一九店(ゼロイチキュー店)

預金種目: 当座 口座番号: 0615705

※ メッセージ欄がある場合は「生徒の学年・クラス・番号・氏名」をお書き下さい。(例)2A15 カモメトモ

B お近くの郵便局で、郵便振替で払い込む

郵便振替用紙(郵便局にあります)に必要な事項を記入して、窓口で払い込む。

口座番号 00130-7-□ 615705
└─┘
1マス分空白

加入者名 鷗友教育研究所

金額 円

通信欄 「生徒の学年・クラス・番号・氏名」を記入

ご依頼人 依頼人の住所・氏名(保護者名でも生徒名でも可)を記入

※ 振り込みの半券は領収書としてご自身で保存しておいてください。

※ 複数の講座分をまとめて振り込んでも結構です。

2 Google Forms に必要事項を入力して送信する。

(1) パソコンのホームページから <https://x.gd/hllgX>

(2) スマートフォンから (右のQRコードを読み取ってください)



※ ~~入力の締め切りは3月30日(土)~~ **4月12日(金)**

【備考】

- ・後日、第2期から申し込むこともできます(7月ごろに募集予定)。
- ・質問がある場合、あるいは入力締め切りに間に合わなかった場合などはメールで問い合わせをしてください
→ kyoikuken@ohyu.ed.jp